

## 平成 29 年 3 月月例記者会見

### 会見記録

#### 1. 記者会見内容について

##### 【 説明 】

##### 【本来の「ふるさと納税」はこれだ!!】

**市長** 私の方から「ふるさと納税」の話 1 件でございます。標題に「本来の「ふるさと納税」はこれだ!!」と書いてますけども、色々ふるさと納税につきましては若干物議も醸してたり、本来の在り方と外れてるんじゃないかとか、色々な議論がだいぶ出てきておりますけれども、生駒市でももちろんふるさと納税という形でご寄附をたくさんいただいておりますけども、そのご寄附をより増やしていきたいという思いと同時に、本来のふるさと納税というのは、「今は都会に住んでいても、自分を育ててくれた『ふるさと』に、自分の意思で、いくらかでも納税できる制度」だと。これは総務省のホームページから引用してありますが、そういう本来の趣旨に従って、まちへのふるさとへの恩返しというものを、よりしっかりと出来るような、そういう制度にしたいと思っております。

真ん中の四角に囲ってあるのがリニューアルの 3 大ポイントだと思っております、寄附金の使い道というところをしっかりと、より「まちへの恩返し」につながるようなものにして行こうというのが 1 つ目。2 つ目が、あんまりこういう風な事をいう自治体って無いと思うんですが、生駒市出身者で今は外に出ておられるような方で地元にご両親がいらっしゃるとかいうような方からのご寄附を、今が 120 人くらいなので 2.5 倍の 300 人くらいに出来ないかというふうに思っております。3 つ目が、返礼品のところではあるんですけども、もちろんレインボーラムネとかもそうですね、生駒市の産品という物の売り出しというか、しっかりと PR していくことも兼ねた返礼品にはなっておりますけども、ここに「まちへの恩返し」ということで、今年からも少しやっておりますけども、まちにまだ住んでおられる両親に何かシルバー人材センターから草刈の支援とかそんな事をするような事、それをもう少し充実させるという様な物も追加をしております。この 3 つに沿ってちょっとだけご説明させていただきます。

1 つ目のところは別紙 1 に、今まで福祉に使いますとか、子育てに使いますとか、環境保全とかいう感じで、ざっくりとやってたところがあります。今年度は学校のトイレの洋式化みたいな話が 1 つだけそういう具体的な話を入れたんですが、もう少し具体的に、生駒出身の方がふるさと生駒に応援したいというような事で考えた時に、なるべく具体的なコースを設けていきたいなという事で、6 つ設定をしております。

1 つ目が「音楽のまち・生駒」ですね。非常に吹奏楽とかも小学校・中学校熱心に取り組んでますし、市民吹奏楽団も出来ました。「市民みんなで作ろう音楽祭」も非常に好評でしたので、それをサポートするという所に 1 つ目のコースを設定しております。

2 つ目が今年度から始まった「IKOMA SUN FESTA」ですね。生駒市の子育て、家族での時間を盛り上げていこうということでこの FESTA を応援する、そういうコースであります。

3つ目が、分かりやすいと思うんですけども、生駒のシンボル、生駒出身の方が毎日見て育って生駒山のナラ枯れがまだまだ深刻でありますので、それを防ぐために使うというコースであります。

4つ目が「シルバー生きいきコース」と書いております。高齢者の方に対する福祉は今色々取り組んでおりますけども、それに関係するような事業ですね。特にこのシルバー生きいきクーポンというのが今度できますが、そういうような物も通じて色々な高齢者の方のサービスに使ってもらおうというコースであります。

5つ目は、今年の流れもありますけども、学校トイレの改修まだ続きますので、それに対応するコース。

最後が、今年度2倍3倍くらいイノシシの捕獲数が増えているんですけども、非常にイノシシ被害、イノシシの出現が増えてますので、イノシシの捕獲とか、それに伴いまして農業振興というようなものに充てていくような事に、6つ目のコースを設定いたしました。

これが1つ目の「使い道」の所の具体化「ふるさとへの恩返し」という所の話です。

2つ目はそこに書いてありますように、先ほど申し上げましたが、今年度で116人くらい、約120人ですので、これを300人くらいの方からは非生まれ育った生駒にということでご寄附を頂こうということで、PRもしっかりやって。さっきの寄附金の使い道をリニューアルしたのもそういう所の一環なんですけれども、増やしていきたいなと思っております。

3つ目の「ふるさと納税本来の趣旨に基づく、生駒らしい返礼品」というのが別紙2でございます。こちらの①のところは「ぬくもり家事支援サービス」を追加という風に書いておりますけれども、コース毎に色々あるんですが、例えば親御さんが生駒に残っておられるような場合に、ご実家の家事支援をしていくというような事もそうですし、逆に生駒市に娘・息子世代が居るといような場合に、お孫さんの世話とか面倒とか送り迎えをシルバーなんかを活用してそういう事をやるような事も逆にあるかと思えます。そういう形で地元に残っておられる親御さんやお孫さんとかのための、そういうサービスを追加をしておるのが1つ目であります。

2つ目が、いわゆるレインボーラムネですけども、8月1日に来年度は再開をする予定でございまして、詳細はまたこれからアナウンスしていくことになると思うんですけども、レインボーラムネもやると。

3つ目が、生駒の日本初のケーブルカーですけども、こちらでのお仕事体験というものを年に2回やる、それが返礼品に追加をされたということでございます。

あとは、2ページ・3ページ目でございますように、生駒の地元の酒、そこに地ビール出てますけども、「ゴールデンラビット」という生駒市の地ビール会社がありますので、そのビールなんかも追加されてるということでございます。他はまた、見ていただければと思います。

以上が、大きく生駒市の今回のリニューアルでございます。28年度の実績も本体資料の最後の方に付けておりますけども、色々担当課もPRも頑張ってくれてたり内、容もリニューアルしまして、寄附件数も400件近く増えてますし、寄附総額も高額寄附を除きまして約6,000万円という事で、これも2,500万円程度増えております。ランキングとしてはレインボーラムネが圧倒的人気ではあるんですけども、それ以外の物でありますと、数は少ないですけども、先ほど申し上げたシルバー人材センターの方の家事支援でありますとか、去年少し発表したマンホールの蓋のバーベキューセットとか数件ですけど実績はあるという事ではあります。そんな形でこれからもふるさと納税という制度自体を本来の趣旨にのって、きちんと活用していきたいなという風に思っております。

私からは以上です。

## 【質疑等】

### 〔本来の「ふるさと納税」はこれだ!!〕

**記者** ふるさと納税の返礼品の方はこれまで従来のものはそのまま置いて、さらに加えてといおうことですか。

**市長** 少し見直してる部分があるかと思いますが、何かリストみたいな物が出来てると思っています。

**市担当者** 返礼品のリストはないんですけど、今現在で 101 品ございます。一部見直しして減る分と増える分あるんですけど、4 月からが 115 品になります。7 月なんですけれど、先ほどのシルバーの分が 7 月から開始という事で、7 月から一部減って増える分がございまして、7 月からは 118 品になります。

**記者** 28 日解禁というのは 28 日付け夕刊からという事？そういう理解でよろしいか？28 日付朝刊からでいいのか、あるいは 29 日付朝刊でいいのか？

**広報広聴課長** 28 日の夕刊からで、よろしくをお願いします。

※ 記者会見後、出席記者との協議で、解禁は 28 日朝刊からに変更になりました。

### 〔4 月 1 日から防災行政無線の運用を開始します〕

**記者** 防災無線の方は、これ今まで放送というのはされてなかったんですか？

**市長** こういう防災無線はなかったのではありません。いろいろ巡回する車のスピーカーとか、後は自治会長さんへの周知とか、もちろんホームページとかメールというものでやりましたが、こういう同報系無線でやるというのはもちろん今まではなかったです。

### 〔「鹿ノ台地区防災計画」「あすか野地区防災計画」を定めました〕

**記者** 地区の防災計画というのは、これは結構珍しい取り組みですか？

**市長** 今、始まる前に確認したんですけど、生駒市ではもちろん初めてですし、結構大変な作業で、私も知った時に、各自治会さんでこういう議論を相当した上で、もちろん市の職員も入って作っている計画なので相当労力がある話でもありますし、生駒市内だけじゃなくて奈良県とか全国で見ても珍しいと思います。奈良県内では初めてかなと思ったりもしたんですけど、そこまだ確認が取れてないので、とりあえず生駒市内という事にしました。恐らく、まだ法律も改正されてそんなに時間も経ってないし相当大変な作業なので珍しい取り組みだとは思いますが、追加的にその辺りの情報があればまたプラスアルファで知らせます。

**記者** 地区防災計画の中身の見本とかその種類とか。

**市長** それは、もちろん公表ですからお渡しできます。

**記者** 生駒市さんとしても各地域に、こう作るような。

**市長** そうですね、作っていただいた方がもちろん有難いですし、それを通じて非常に防災意識の高まりにもなると思いますので。さっきも申し上げましたように相当結構大変な作業なんだと思うんですよ。鹿ノ台・あすか野は非常に精神的に頑張っていたりもしてるところでもあってこういう形なってますけど、生駒市でも全自治会にっていう事になるとなかなかすぐは難しいのかもしれませんが、少しずつそういう形でこういうのもやっってはるんで、色々考えていただいたらというような事は周知はしていきたい

いと。

(了)